

令和6年度 大阪市立北区北老人福祉センター 事業実績報告書

施設概要

施設名	大阪市立北区北老人福祉センター 愛称：キタロー
所在地	大阪市北区同心1-5-27
施設規模	鉄筋コンクリート造4階建のうち1階及び4階の一部 延床面積 2,673.61㎡のうち790.87㎡(堀川地域集会所84.02㎡含む)
主な施設	大広間、会議室、講習室など
市が設定した数値目標	センター利用者向けに実施する満足度調査で、「満足・やや満足と回答される方」の割合を85.6%以上とする。(市内26館における過去3年間の平均) 令和2年度から4年度の平均年間利用人数：11,652人 令和2年度から4年度の平均年間登録人数：323人
令和6年度満足度	81.3% (130/160) ※母数を明記すること。
令和6年度利用人数	18,645人
令和6年度登録人数	381人

指定管理者

団体名	社会福祉法人大阪市北区社会福祉協議会
事務所の所在地	大阪市北区神山町1-5-11
代表者	会長 小玉 始
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日
報告対象期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
担当者	北区北老人福祉センター 館長 渋谷 義徳
連絡先	(06) 6352-7025

1 指定管理業務の実施状況

(1)施設の運営方針

ア) 地域福祉の拠点として、高齢者の孤立防止の取り組みを図る

- ①年間を通じて、囲碁広場・健康麻雀広場などオープン事業を実施した。
- ②職員が相談窓口となり、「百歳体操」やサークル見学を紹介した。
- ③「わなげ大会」や「eスポーツ体験会」など、参加しやすいイベントを開催した。
- ④館長・職員による清掃・点検で快適で安心できる環境を作った。

イ) 高齢者自らが地域福祉の担い手となるよう、人材を育成する

- ①センター独自のボランティア「キタロー会」のカフェ「キタロー茶屋」を再開した。
- ②ボランティアグループの「おもちゃ病院」や「キタスマ」の活動を支援した。
- ③サークル活動や同好会などの自主的な活動を支援した。

ウ) 介護予防や認知症予防の活動に取り組むとともに、普及・啓発に努める

- ①「百歳体操（生きがいと健康づくり事業）」を毎週火・金曜日に開催し、介護予防を試みた。
- ②認知症対策のセミナーや食育イベントなどを開催した。
- ③認知症サポーター養成講座を開催した。

(2)施設の維持管理

ア) 点検・清掃

- ・「建築管理の手引き（福祉局作成）」に基づき、館長が定期的に点検した。
- ・職員が日常の清掃とチェックを徹底的に行った。

イ) 定期的保守点検と法定点検

- ・電気設備巡視点検（年 12 回）
- ・自家用電気工作物法令点検（年 1 回）
- ・非常用発電機 C 点検等（年 1 回）
- ・消防用設備等点検の実施（年 2 回）
- ・自動ドア保守点検（年 4 回）
- ・エレベーター保守点検（年 18 回） 内、法令点検 1 回/年
- ・受水槽及び高架水槽の清掃・水質検査（年 1 回）・簡易専用水道定期検査（年 1 回）
- ・特殊建築物等定期点検（1 回/3 年）
- ・空調設備フロン漏洩検査（1 回/3 年）

ウ) その他修繕等

- ・敷地内排水管詰り修繕工事
- ・敷地内水銀灯 LED 化工事

(3)職員の配置状況

施設長 1 名・嘱託職員 3 名

(4)危機管理・安全管理（事故防止等安全対策、災害等緊急時の対応への準備）

ア) 感染症拡大防止対策ほか

- ①新型コロナ終息以降もインフルなどの猛威を鑑み、職員は常時マスクを着用した。
- ②消防・災害避難訓練を実施した（9/20・2/12）。
- ③「大阪市行政オンラインシステム」を利用した伝達訓練を実施した。
- ④利用者台帳、サークル名簿や連絡網の施錠保管の徹底や、PC のパスワード変更による個人情報保護を徹底した。
- ⑤入居団体会議の定期開催（年 6 回）において、災害や防犯上の情報を共有した。

2 利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延利用 人数	1,561	1,510	1,584	1,597	1,282	1,635	1,777	1,815	1,228	1,484	1,552	1,620	18,645
登録 者数	266	24	16	12	11	7	6	14	4	13	5	3	381

年度別利用者数推移

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
男性	利用者数	3,257	3,611	5,279	4,809	4,682
	男性割合	39.6%	37.8%	31.0%	27.0%	25.1%
女性	利用者数	4,967	5,936	11,743	13,018	13,963
	女性割合	60.4%	62.2%	69.0%	73.0%	74.9%
合計利用者数		8,244	9,547	17,022	17,827	18,645

年度別利用者年代比率

年 代	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
60～69 歳	7.6%	6.3%	6.0%	6.8%	6.8%
70～79 歳	48.0%	49.6%	54.4%	52.3%	51.5%
80 歳～	24.6%	29.1%	31.4%	32.1%	33.8%
その他	19.8%	14.9%	8.2%	8.8%	7.9%

3 実施事業

(1)事業報告

①事業計画 (P)

- 1) 高齢者福祉の拠点づくり・孤立防止
 - ・囲碁広場（毎日／年 1,200 人）
 - ・バンパー広場（毎日／年 2,500 人）

- ・健康麻雀広場（月 2 回／年 304 人）
- ・卓球広場（月 2 回／年 230 人）
- 2) 健康づくりと介護予防促進講座
 - ・ヤクルト健康セミナー（年 4 回／年 80 人）
 - ・森永健康セミナー（年 2 回／年 40 人）
 - ・大塚製薬熱中症予防セミナー（年 1 回／年 20 人）
- 3) 健康・体力作り
 - ・結核健診（年 1 回／年 10 人）
 - ・健康相談会（年 1 回／年 30）
- 4) 生きがい探求・教養講座
 - ・外国語学習（年 1 回／年 20 人）
 - ・手話教室（年 1 回／年 20 人）
 - ・男の家事入門講座（年 4 回／年 40 人）
- 5) 生きがいづくり
 - ・歩こう会（年 6 回／年 60 人）
 - ・素人寄席（年 4 回／年 160 人）
 - ・うた広場（年 6 回／年 180 人）
- 6) 高齢者の自主的な活動支援（人材育成）
 - ・キタロー会（月 1 回／年 120 人）
 - ・おもちゃ病院（月 1 回／年 120 人）
 - ・キタロー茶屋（年 4 回／年 80 人）
 - ・認知症サポーター養成講座（年 1 回／年 20 人）
- 7) 地域・世代間交流
 - ・アウトリーチ（サークル集会所参加）（年 2 回／年 20 人）
- 8) 啓発活動・講座
 - ・終活セミナー（年 1 回／年 20 人）
 - ・消費者トラブル講座（年 1 回／年 20 人）
 - ・行政（警察・消防）協力（年 48 回／年 480 人）
- 9) その他
 - ・スマホ相談コーナー（年 6 回／年 72 人）

②活動内容 (D) （今年度の取組内容）

- 1) 高齢者福祉の拠点づくり・孤立防止
 - ・囲碁広場（毎日／年 475 人）
 - ・バンパー広場（毎日／年 468 人）
 - ・健康麻雀広場（月 2 回／年 247 人）
 - ・卓球広場（月 2 回／年 149 人）
 - ・e スポーツ体験会（年 1 回／年 14 人）
- 2) 健康づくりと介護予防促進講座
 - ・ヤクルト健康セミナー（年 4 回／年 54 人）

- ・食と健康セミナー（年４回／年 68 人）
- 3) 健康・体力作り
 - ・結核健診（年 1 回／年 7 人）
 - ・早期発見セミナー（認知症・がん）（年 2 回／年 37 人）
- 4) 生きがい探求・教養講座
 - ・外国語学習（年 1 回／年 24 人）
 - ・手話教室（年 1 回／年 8 人）
 - ・男の家事入門講座（年 2 回／年 8 人）
- 5) 生きがいづくり
 - ・歩こう会（年 6 回／年 65 人）
 - ・素人寄席（年 4 回／年 142 人）
 - ・うた広場（年 6 回／年 243 人）
- 6) 高齢者の自主的な活動支援（人材育成）
 - ・キタロー会（年 4 回／年 23 人）
 - ・おもちゃ病院（月 1 回／年 151 人）
 - ・キタロー茶屋（年 7 回／年 188 人）
 - ・認知症サポーター養成講座（年 1 回／年 3 人）
- 7) 地域・世代間交流
 - ・アウトリーチ（サークル集会所参加）（年 2 回／年 20 人）
 - ・アウトリーチ（交通安全フェスティバル参加）（年 1 回／年 42 人）
 - ・アウトリーチ（保育園夏まつり参加）（年 1 回／年 42 人）
- 8) 啓発活動・講座
 - ・終活セミナー（年 1 回／年 44 人）
 - ・消費者トラブル講座（年 1 回／年 19 人）
 - ・行政（警察・消防）協力（年 48 回／年 529 人）
 - ・正しい施設の選び方（年 1 回／年 20 人）
 - ・生前整理の基礎知識（年 1 回／年 30 人）
 - ・もしものための認知症対策（年 1 回／年 25 人）
- 9) その他
 - ・スマホ相談コーナー（年 6 回／年 84 人）

③チェック (C) （成果、課題）

1) 高齢者福祉の拠点づくり・孤立防止

〔成果〕参加者数は計画を下回ったが、利用者間でバンパーのルールを教えあうなど、つながりが広がっている。

〔課題〕囲碁は高齢化もあり、昨夏の猛暑のような気候に参加が左右されやすい。

2) 健康づくりと介護予防促進講座

〔成果〕計画にはなかった「食と健康セミナー」を４回シリーズで開催し、日常の食事の大切さを理解してもらえた。

〔課題〕高齢者にはカロリー計算の話など、理解が追いつかない話題がある。

3) 健康・体力づくり

〔成果〕看護師実習から地域医療機関と協力体制ができ、健康に関するセミナーを開催できた。

〔課題〕器具を使った健康測定はできなかった。

4) 生きがい探求・教養講座

〔成果〕外国語（英会話）学習は申込みが多く、高齢者の学習意欲を認識できた。

〔課題〕男性限定の講座は、参加者が少なく、テーマ選びの難しさがはっきり出た。

5) 生きがいづくり

〔成果〕日々の生きがいとなるレクリエーションを提供することができた。

〔課題〕感染症の流行もあり、参加者数の制限を完全に解除できない。

6) 高齢者の自主的な活動支援（人材育成）

〔成果〕「キタロー茶屋」の再開に伴い、ボランティアの申込みがあった。

〔課題〕「キタロー会」が高齢化と猛暑で、参加者数が減った。

7) 地域・世代間交流

〔成果〕地域組織との協力で、「アウトリーチ」を増やすことができた。

〔課題〕アウトリーチに参加していたサークルが高齢化で減りつつある。

8) 啓発活動・講座

〔成果〕終活関連のテーマは人気があり、どの講座も申込みが多かった。

〔課題〕防犯関連はまだ聞き流している方が多いように思う。

9) その他

〔成果〕スマホ相談の申し込みが常に満席になっている。

〔課題〕相談者が固定している傾向がある。

④改善策（A）（次年度に向けた改善内容）

1) 高齢者福祉の拠点づくり・孤立防止

◇健康麻雀開放デーや卓球開放デーなどの回数が増やせないか検討したい。

2) 健康づくりと介護予防促進講座

◇講師との事前打ち合わせ時に、高齢者セミナーの特徴を伝えたい。

3) 健康・体力づくり

◇地域医療機関と協議し、体力測定等ができるようにしたい。

4) 生きがい探求・教養講座

◇男性利用者増加に関しては、体操やストレッチなどの運動系を導入したい。

5) 生きがいづくり

◇安全に配慮しながら、可能な範囲で人数制限を緩和していきたい。

6) 高齢者の自主的な活動支援（人材育成）

◇「キタロー会」の新規メンバーを募集していきたい。

7) 地域・世代間交流

◇「センターだより」で新規メンバーを募集するなど、サークルをバックアップしたい。

8) 啓発活動・講座

◇防犯に特化した講座で、興味を持つような内容の物を工夫したい。

9) その他

◇窓口等でスマホ相談の紹介をしていきたい。

(2) 平等利用の確保

- ①「センターだより」だけではなく、LINE 公式アカウントを活用した。友だち登録も 200 人以上に増えており、非常に反応が良かった。
- ②身体に障がいのある方や、LGBTQ の方の利用に配慮した。
- ③人気の高いイベントは原則抽選とした。

(3) 利用者サービスの向上策

- ①「サークル世話人会（代表者会議）」を開催し、そこで出た意見や要望を反映した。
- ②全自動麻雀卓を導入し、サークルだけではなく、開放デーを設定した。
- ③給茶機を設置し、水分補給を無料で提供した。
- ④職員は人権やコンプライアンス関連の研修を受講し、自覚と知識を持って利用者に対応した。

(4) センターの利用促進策

- ①アンケートの意見を取り入れ、運営に反映した。
- ②新サークル「健康麻雀」「ウクレレ」「オカリナ」などの立ち上げを支援した。
- ③地域社協の協力により、地域のマンション管理組合に老人福祉センターの周知とセンター便りの掲示や回覧を行った。

(5) 利用者からの苦情・意見・満足度の把握

- ①年に 1 度の大規模アンケート実施し、満足度の調査や意見・要望、電子機器に対する意識などを事業に反映させた。令和 6 年度満足度 81.1%で対目標-4.5 ポイントだが、さらに満足度向上に向け努力したい。
- ②センター事業終了後のアンケート（主に新規イベント中心）や「ご意見箱」の設置など、利用者からの意見や要望を把握している。
- ③「サークル世話人会」における各代表の意見を事業に反映した。

4 地域との連携・人材育成

(1) 地域の関係団体・施設との連携

- ①北区社会福祉施設連絡会や北区リハビリテーション連絡会との連携や協働による事業を開催した。
- ②同一建物に入居する 4 団体による北区総合福祉センター入居団体会議を開催した。（年 6 回）
また、消防・防災訓練も実施した（年 2 回）。
- ③「趣味の作品展」「サークル発表会」で地域住民にセンターを開放し、事業内容の周知を図った。
- ④北区の看護専門学校実習生を受け入れた（2 校・計 4 回）。
- ⑤北区の大学から実習生を受け入れた（2 名）。
- ⑥サークル開始前に所轄警察・消防署からのミニ講話や交通安全イベントを実施した。

(2) 人材育成・ボランティア活動支援等

- ①スマホボランティアの養成、スマホ相談コーナー等、活動の場を提供した。
- ②キタロー会（センターボランティア活動）の定期会合の実施、歩こう会等のイベント参加に参加した
- ③おもちゃ病院の定期開催。
- ④センター職員による「認知症サポーター養成講座」の開催。

5 その他

(1) 職員研修の実施状況

日時	場所	人数	テーマ及び講師	研修方法	時間数
6月14日	北区在宅サービスセンター	1	「労務管理とハラスメント」 社会保険労務士 福西 綾美	講義（ZOOM 視聴）	90 分
6月18日		2			
6月19日		1			
8月23日	北区在宅サービスセンター	2	「子どもの権利について」 弁護士 梶井 規貴	講義（ZOOM 視聴）	90 分
8月29日		2			
10月22日	北区在宅サービスセンター	4	「福祉現場におけるカスタマーハラスメントへの対応」 弁護士 平田 佳之	講義（ZOOM 視聴）	90 分
12月4日	北区在宅サービスセンター	1	「合理的配慮の提供について」 大阪市福祉局 障がい者施策部 障がい福祉課	講義（ZOOM 視聴）	90 分
12月5日		1			
12月6日		1			
12月11日		1			

(2) 個人情報の保護・情報公開について

◇職員は下記規定に則って行動

- ・大阪市北区社会福祉協議会「個人情報保護規程」・「個人情報取扱運用細則」
- ・大阪市北区社会福祉協議会「個人情報保護に関する方針（プライバシーポリシー）」
- ・大阪市北区社会福祉協議会「コンピューターシステムの運用管理に関する規程」

◇PC パスワードの定期的な変更。FAX 送信時の個人情報の削除。

◇職員が知り得た個人情報の取扱いは、最新の注意を払うよう指導。

(3) 職員の労働条件の確保・環境への配慮

◇過重労働（残業含む）の徹底的な排除。

◇休日の確実な取得。

◇定期的な健康診断の受診。

◇定期的な館長と職員の面談による意思疎通。

◇再生紙の使用を基本として両面コピーを心がけ、使用済み用紙の裏面利用に努めた。

◇職員一人一人が環境保全の意識を高め、省エネルギー対策及びリサイクルを促進した取り組みを実施。

6 収支決算状況

(単位：円)

収 入 (項目)		内 訳	計 画	決 算
	業務代行料	大阪市からの業務代行料	18,838,000	18,838,000
	雑収入等	参加費収入等	500,000	117,252
収入合計 (A)		—	19,338,000	18,955,252
支 出 (項目)		内 訳	計 画	決 算
	人件費	職員 4 名分	14,230,000	12,791,400
	物件費	事業費、管理費	5,108,000	5,744,641
支出合計 (B)		—	19,338,000	18,536,041
収支 (A) - (B)				419,211

【計画と決算の差額の主な理由】

◇収入

- ・夏季猛暑による参加者の減少

◇支出

- ・法人として人件費等の事業経費の抑制
- ・節減による光熱水費の減少
- ・設備老朽化による修繕費の増加
- ・備品類老朽化及び災害対策のため、器具備品費の増加

【経費節減のために主に取り組んだこと】

- ・コピー・印刷は再生紙を利用するとともに、出来る限りカラー印刷を控えた。
- ・必ず複数業者による比較見積もりで、安価に購入できるように努めた。
- ・照明や事務機器の電源 ON/OFF、空調の温度管理を小まめに行った。